

平成 29 年度
事業報告書

社会福祉法人福岡慈愛会

特別養護老人ホームさんすまいる唐原

地域密着型介護老人福祉施設さんすまいる唐原

短期入所生活介護さんすまいる唐原

さんすまいる唐原デイサービスセンター

ケアプランセンターさんすまいる唐原

さんすまいる唐原就労支援部

平成 29 年度 さんすまいる唐原事業報告書

概 要

<特別養護老人ホーム>

当事業も開設から早や15年の年月が過ぎました。

特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設）では、ご利用者様の入退所について、一昨年に続き、類を見ないほどの入退所がありました。主要因としては入居者様の高齢化並びに症状の重度化や病状の重篤化が挙げられます。しかし、これまで以上に詳細且つ迅速な入所時面接や退所時手続きを実施し、出来る限り円滑な入退所を行っております。しかしながら、慢性的な入院者が後を絶たず、入居率は昨年度比で横這いの結果となりました。地域密着型特養に於いても入院や退所がありましたが、1日26人の入居者上限数に対し平均稼働率は92.9%という安定した運営が行えております。広域型特養では高介護度者の方が増えた事や現病歴による突発的な入院が増え、先で述べた通り総合的に入居稼働率が89.7%と言う結果に繋がってしまいました。

地域密着型特養では継続して運営推進会議を2か月に1回開催しており、事業所運営の透明性の確保やサービスの質の向上、また、地域との連携を図り、地域交流等の体制を築けるよう今後も努め、地域社会の行事やイベントへ積極的に参加し、地域貢献できるよう務めて参ります。長寿大国と言われる中、益々入居者の高齢化や重度化並びに福祉・医療ニーズの多様化も進む事が予想され、より一層迅速且つ円滑な支援と適切な医療処置並びに医療機関との連携を密にする必要性が高まっています。今後は更に事業所の特色を出し、入居希望者の方の確保に努めながら事業所全体で個々のスキルアップをサポートし取り組む課題として意識を持っております。

<短期入所生活介護事業>

ショートステイ（短期入所生活介護事業）は、前年度と比べ平均稼働率は大幅に増加しております。空床利用も含め1日の平均利用が12人を超え、稼働率は122.9%となっています。また新規利用者も着実に増えてきており、平成30年度はより一層の営業活動に努めると共にサービスの質の更なる向上（特に退所時の所持品の返し忘れ）を図りながら、空床ベッドの有効活用を常に意識し、利用者の更なる定着と稼働率向上を目指したいと考えております。

<通所介護事業>

デイサービス（通所介護事業）は、29年度の利用実績に於いて、平均利用者数は前年度比よりも減少しており、1日最大利用50名に対し平均利用者は26名と稼働率は52.3%に留まる結果となってしまいました。デイサービス事業所の競争激化が目まぐるしい中、サービス事業内容の充実化やオリジナリティの確立、他事業所へのアピール等、通所事業として生き残るための課題は少なくありません。新規利用者の獲得に向けた活動が今後益々重要になり、事業所スタッフ一丸となり選ばれるサービス事業の展開を目指し取り組んでいきます。

<居宅介護支援事業>

ケアプランセンター（居宅介護支援事業）の利用者数は前年度と比べほぼ横ばい状況ではありますが、利用者保有率は78%前後を推移しており、その原因と致しまして、当施設への入所や入院による契約の終了があります。居宅支援事業の相乗効果を考えると新規契約確保は必須であり、他事業所や医療機関等との密な連絡連携を図りながら今後は更なる新規利用者の確保に努めなければなりません。なお、現在ご担当している利用者様並びにご家族様にはその方々にあったサービスプランを提供し、満足を頂いております。

<さんすまいる唐原就労支援部>

さんすまいる唐原就労支援部は平成29年8月より事業を運営し、平成30年3月末での登録者は6名であり、1日の平均利用者数は3.8人という状況でした。定期的な営業等も行っておりますが既に利用されている方が殆どであり、新規利用者獲得には至っておりません。しかしながら継続した事業所への訪問や既存利用者の利用している事業所からの口コミ等もあり、4月以降の利用者獲得は確実なものとなっております。今年度は登録者数のアップに加え1日の平均利用者数アップも確実なものとし、利用者の方の社会参加並びに安定した運営に寄与出来るよう努めて参ります。

1. 各事業実績

別紙のとおり

2. 施設内外研修

(1) 施設外研修

別紙のとおり

(2) 施設内研修

別紙のとおり

3. 職員体制

平成 29 年 4 月 1 日現在

	施設長	部長	事務員	生活 相談員	介護 職員	看護 職員	医師	介護 支援 専門員	機能 訓練 指導員	管理 栄養士	調理員	計
入所・短期入所	1	1	2	1	46 (8)	9 (2)	1 (1)	1	4	1		66 (11)
通所				2	6 (1)	3 (2)			2		17 (3)	
居宅支援									2			2

非常勤・派遣職員を含む総数、() は、職員の内、非常勤職員再掲。

4. 事故・苦情等についての報告

主なものについては、別途報告のとおりでございます。なお、別紙は個人情報特定できないように加工しております。

また、苦情等については発生に応じて第三者委員へ報告するよう留意しております。

5. 指導監査等

平成29年8月23日 社会福祉法人等指導監査
(福岡市保健福祉局監査指導課)

6. 事故、苦情に関する報告

● 平成28年度の行政への事故報告

転倒による骨折・打撲等	2件
骨折（不明）	0件
脱臼	0件
離設	0件
接触による切傷	0件
その他	2件
計	4件

● 苦情報告

入居者様からの苦情	0件
計	0件

● 要介護施設における虐待に関する行政の相談受付窓口への報告件数

計	0件
---	----

事故報告では4件となっております。疾病によるものも含まれておりますが、主な原因としまして、見守り不十分や大丈夫だろうとの認識による事故であり、重篤な事故に至っているケースもあります。また、大事には至らなかったものの施設内に於ける転倒や接触による剥離等は依然として発生しており、原因が不明な擦傷等も報告されており

ます。今後はヒヤリハットをより一層有効活用し、スタッフの配置状況や施設内住環境も徹底して見直すと共にマニュアルの抜本的見直しを図りながら、安心・安全・快適に過ごせる環境を整えていきたいと思えます。

苦情に関しまして、本年度も0件という結果でした。しかし、苦情には至らなかったもののショートステイご利用者様の荷物の返却忘れや返却間違いなど苦情となり得るケースも相変わらず後を絶たない現状です。所持品を画像での記録、所持品の2重3重のチェックの徹底、職員間の情報の共有の徹底を図り、ご利用者並びにご家族の方に不快な思いをさせないよう細心の注意を払っていきたいと思えます。

虐待に関しましては、虐待及びその疑いは0件であり、入職時オリエンテーションでの徹底した説明、全員参加型による施設内研修の徹底、不参加者への伝達の徹底に今後も努め、虐待ゼロを継続して行きたいと考えております。併せて、業務従事者の業務によるストレスの軽減を図れるよう職場環境の整備並びにコミュニケーションが充分に取れる等に留意したいと考えております。

特別養護老人ホーム 利用実績（定員96名）

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	1日平均
平成29年4月	30	207	521	965	849	2572	85.7
5月	31	217	542	1015	911	2716	87.6
6月	30	199	564	953	879	2625	87.5
7月	27	214	633	903	913	2690	86.8
8月	62	217	647	855	957	2738	88.3
9月	60	227	639	872	851	2649	88.3
10月	62	205	698	888	851	2704	87.2
11月	30	180	709	775	821	2515	83.8
12月	83	186	815	750	711	2545	82.1
平成30年1月	93	216	781	844	810	2744	88.5
2月	73	140	756	792	685	2446	87.4
3月	62	155	775	950	789	2731	88.1
合計	643	2363	8080	10562	10027	31675	86.8

介護老人福祉施設 特別養護老人ホーム利用実績（定員70名）

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	1日平均
平成29年4月	30	147	341	727	579	1824	60.8
5月	31	155	356	777	609	1928	62.2
6月	30	139	383	728	580	1860	62.0
7月	27	152	418	693	658	1948	62.8
8月	31	155	469	669	669	1993	64.3
9月	30	137	459	692	586	1904	63.5
10月	31	143	481	706	580	1941	62.6
11月	0	120	529	625	576	1850	61.7
12月	27	124	599	595	483	1828	59.0
平成30年1月	31	154	564	694	580	2023	65.3
2月	17	112	532	652	489	1802	64.4
3月	0	124	523	784	561	1992	64.3
合計	285	1662	5654	8342	6950	22893	62.7

介護老人福祉施設 特別養護老人ホーム利用実績（定員26名）

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	1日平均
平成29年4月	0	60	180	238	270	748	24.9
5月	0	62	186	238	302	788	25.4
6月	0	60	181	225	299	765	25.5
7月	0	62	215	210	255	742	23.9
8月	31	62	178	186	288	745	24.0
9月	30	90	180	180	265	745	24.8
10月	31	62	217	182	271	763	24.6
11月	30	60	180	150	245	665	22.2
12月	56	62	216	155	228	717	23.1
平成30年1月	62	62	217	150	230	721	23.3
2月	56	28	224	140	196	644	23.0
3月	62	31	252	166	228	739	23.8
合計	358	701	2426	2220	3077	8782	24.1

平成29年度 施設内研修

4月	倫理及び法令遵守について プライバシー保護について 介護職員処遇改善加算について	施設長・部長
5月	感染症対策～食中毒について～ 事故発生防止について～集計結果と対策～	感染症対策委員会 リスクマネジメント委員会
6月	褥瘡ケアについて	褥瘡対策委員会
7月	看取り及び精神的ケアについて 緊急時の対応及びオンコール体制について	課長・介護主任・看護師 看護師
8月	高齢者虐待防止について	課長
9月	認知症ケアについて AEDについて	介護主任・介護チーフ サニクリーン
10月	身体拘束について	身体拘束廃止委員会
11月	感染症対策～インフルエンザ・ノロウイルス～ 手洗いについて	感染症対策委員会 サニクリーン
12月	医療に関すること～利用者の健康を維持するために～	看護師
1月	事故防止について～危険予知～	リスクマネジメント委員会
2月	排泄ケアについて	排泄委員会
3月	ハラスメントについて 排泄ケアについて	部長 外部講師